



2024年6月28日

各 位

会 社 名 日本インシュレーション株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 吉井 智彦  
(コード：5368、東証スタンダード)  
問 合 せ 先 執行役員管理本部経営企画部部长 金子 一郎  
(TEL. 06-6210-1250)

### 【概要版】日本インシュレーション株式会社中期経営計画(2024～2026年度)

当社は、2024年度から2026年度までを期間とする中期経営計画を以下のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

また別途、以下の項目について詳細に示した詳細資料も以下のURLに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

中期経営計画(2024～26年度)【詳細版】

URL:<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS06022/7673fca8/1ded/4e1c/b728/028e82487a4b/20240628081008779s.pdf>

- 1) 前中期経営計画の振り返りと新中期経営計画に向けておさえるポイント
- 2) 新中期経営計画(2024～26年度)
- 3) サステナビリティ基本方針実施例

以 上

# 中期経営計画 (2024~26年度) 概要版

2030年を見据え、  
環境×技術がつなぐサステナビリティ経営

2024年6月



## 2030年のありたい姿

サステナビリティ経営の推進により、  
社会に貢献する事業拡大で、  
巻き返しを図り、今までの水準を超えていく。

2030年のありたい姿として、  
以下を目標とする。

・ ROE 10%以上

・ PBR 1.0以上

この目標を早期に達成し、  
さらに高みを目指していく。

資本コストを意識した  
経営の実践

ステークホルダーからの  
企業価値向上に対する要請に応えていく

# サステナビリティ基本方針

脱炭素社会の実現への貢献【GX】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキュラーエコミーの推進に貢献する</li> <li>・商品や技術を活用して、お客様の事業活動におけるCO2排出削減に貢献する</li> </ul>	  
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の事業活動でのカーボンニュートラルに向けたCO2排出削減対策を推進する</li> </ul>	 
レジリエントな社会実現への貢献【SX】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の防災へ貢献する – 建築の資産価値向上</li> <li>・耐熱材料で産業活動の発展に貢献する</li> </ul>	 
持続可能な研究・生産の活動の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発の推進</li> <li>・生産体制の整備</li> <li>・品質管理、労働安全管理の徹底 – 生産・施工を中心に–</li> </ul>	 
ステークホルダーとのエンゲージメント深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の尊重 – 人権を意識した企業活動の推進</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイバーシティの重視 – 外国人材や女性の登用、活躍推進</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の育成 – リスキングを含む教育訓練等の推進</li> <li>・健やかに働くことのできる職場の実現 – 健康経営、労働時間管理、福利厚生の充実</li> <li>・DXの推進による生産性向上</li> </ul>	 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーとのコミュニケーション深化 – 株主、地域等すべてのステークホルダーを意識した取組</li> </ul>	
ガバナンスの高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼あるガバナンス構築 – コーポレートガバナンス・コード等に基づく取組推進</li> </ul>	

## 【GX】とは –

ここでは、対外的に、環境貢献製品の拡大を図っていく取り組みをいいます。組織内部には、自社活動が環境を阻害しないようにカーボンニュートラルに向けた取り組みをいいます。

## 【SX】とは –

ここでは、耐火性能など確実な品質の担保が求められる防災貢献製品の製造で信頼ある体制を社内外で構築、維持していく取り組みをいいます。

## ➤ 事業収益計画 2026年度

(単位:百万円)

	2023年度	2026年度	増加率
売上高	12,537	15,000	20% ↗
営業利益	1,458	1,750	12% ↗
営業利益率	12%	12%	
ROE	7.6%	8%	

注)2024~2026年度の計画値はp24を参照

## ➤ 成長投資額

2030年までの7年間で約**70億円**の投資枠を設ける

## ➤ サステナビリティ指標

CO2削減目標 : 2030年に2013年比で**46%**削減に努める  
2050年に**カーボンニュートラル**を目指す



当社事業は、サステナブルな社会の実現に貢献します。社会課題であるカーボンニュートラルや廃棄物有効利用、防災で当社製品が使用されることで、当社の事業は拡大していきます

## ➤ サステナビリティ推進による事業拡大

- ・サーキュラーエコノミー関連の新事業へ参入
- ・SAF (持続可能な航空燃料)、メタネーション、ケミカルリサイクルでの保温工事受注拡大
- ・次世代燃料 (水素、アンモニア) 関連で保冷事業への参入
- ・高耐熱性の新製品の開発推進
- ・耐火建材の認定拡充でシェア拡大

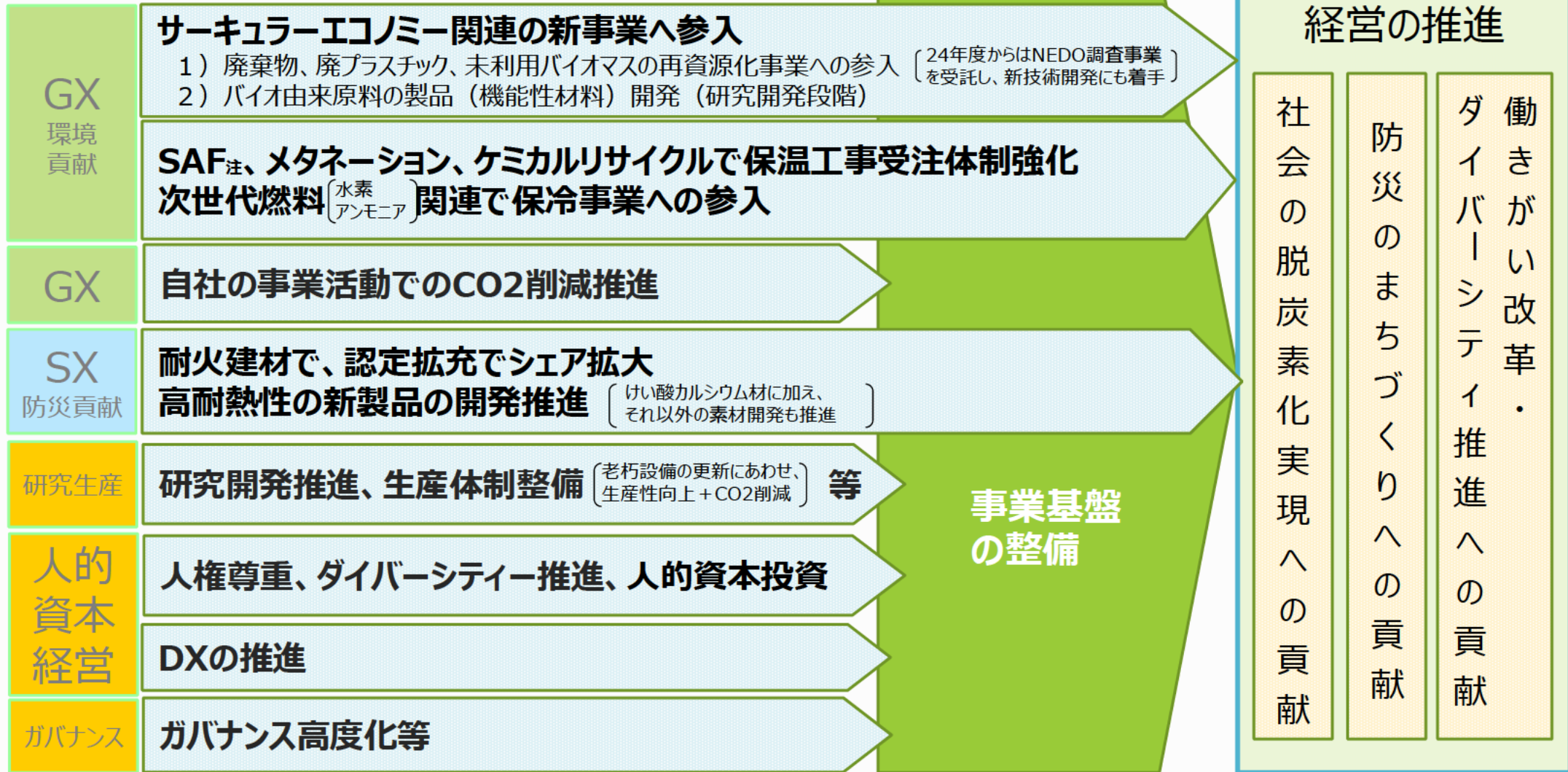
## ➤ サステナビリティ経営による新たな取り組みを推進

- 1) 2030年までに70億円程度の成長投資を、資本コスト経営を意識しつつ実行する
  - ・既存事業設備のGX化を含む集約化、高度化の投資
  - ・環境事業、保冷事業、けい酸カルシウムを含む素材技術の高度化、建設技能者の獲得等の新事業・新製品にかかる生産・研究設備の導入・改良、M&A等の投資
- 2) チャレンジする企業文化を育み、成長基盤を構築するため、従来の経費予算とは別枠で年1億円程度のチャレンジ戦略枠を創設し、研究開発、人材育成分野を中心に、社員に新事業や方策への挑戦を促す。2024年度中の制度発足を目指し、上半期に制度設計を完了させる

## ➤ ステークホルダーとの共創

- 1) 株主への還元方針達成に向けた新たな取り組みを検討する
- 2) 人的資本経営に積極的にシフトする

## <主要方策> JICのマテリアリティ（重要課題）



サステナビリティ経営の推進によって社会に貢献する

注) SAF： 持続可能な航空燃料

## 1) 配当政策

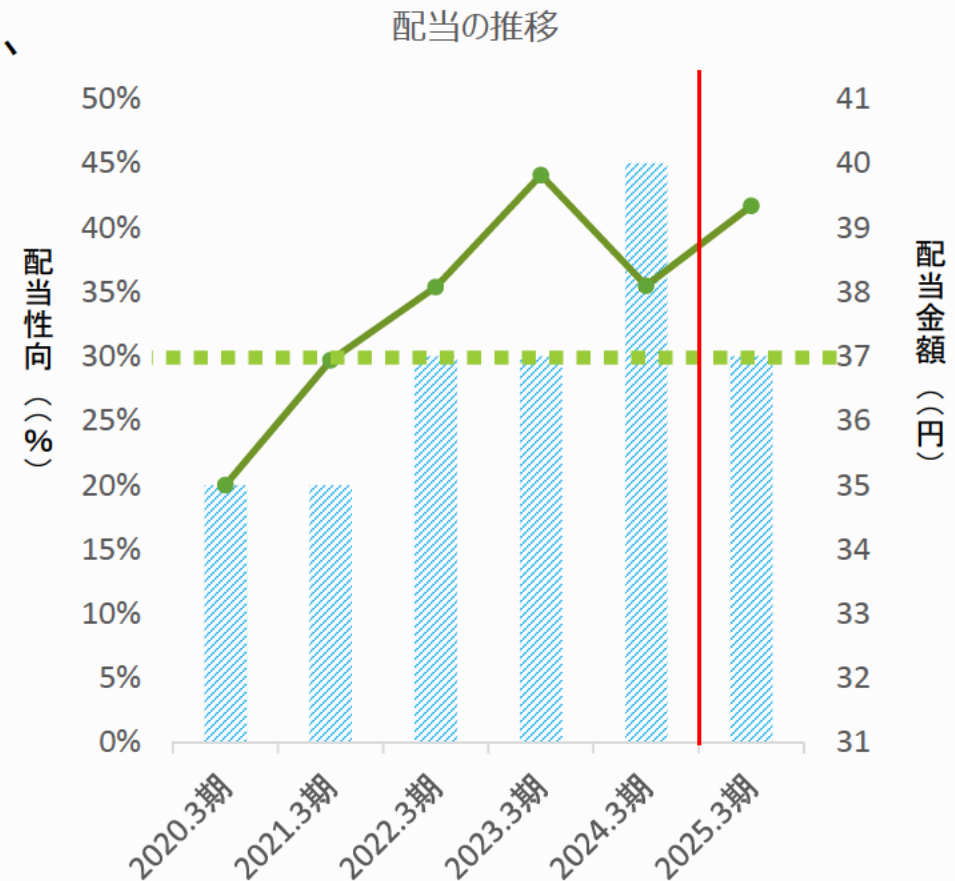
1株当たり配当金を37円以上の水準を確保しつつ、配当性向30%以上を目標として、安定した配当の継続に努める。

個人株主の増加のために、方策を検討する。

- 例) ・中間配当の導入  
 ・優待策の設定  
 (長期保有株主を優待、BtoC商品の提供 等)

## 2) 従業員への投資

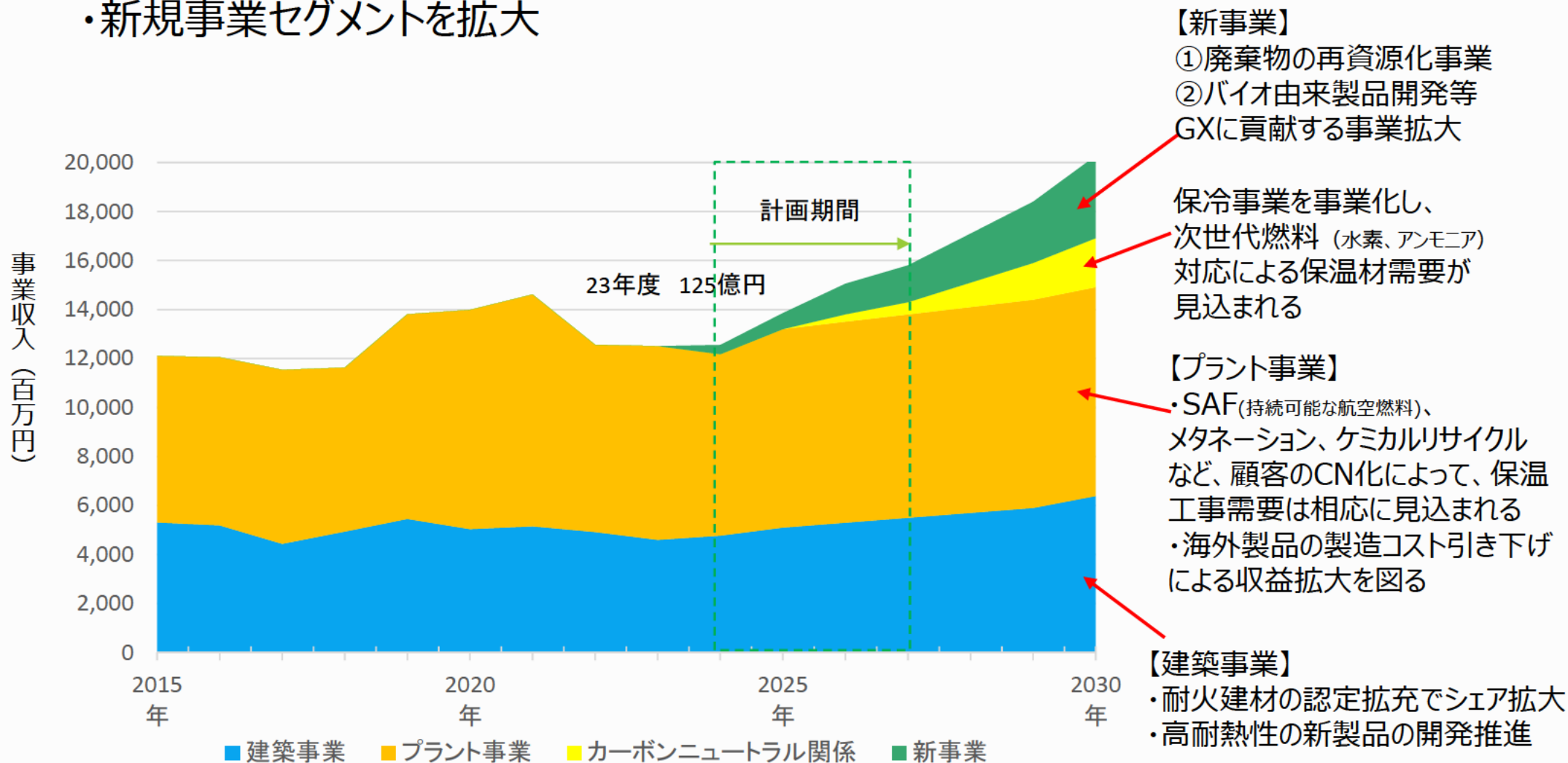
- ・給与水準の見直し
- ・健康経営の推進
- ・タレントマネジメントシステムの導入等

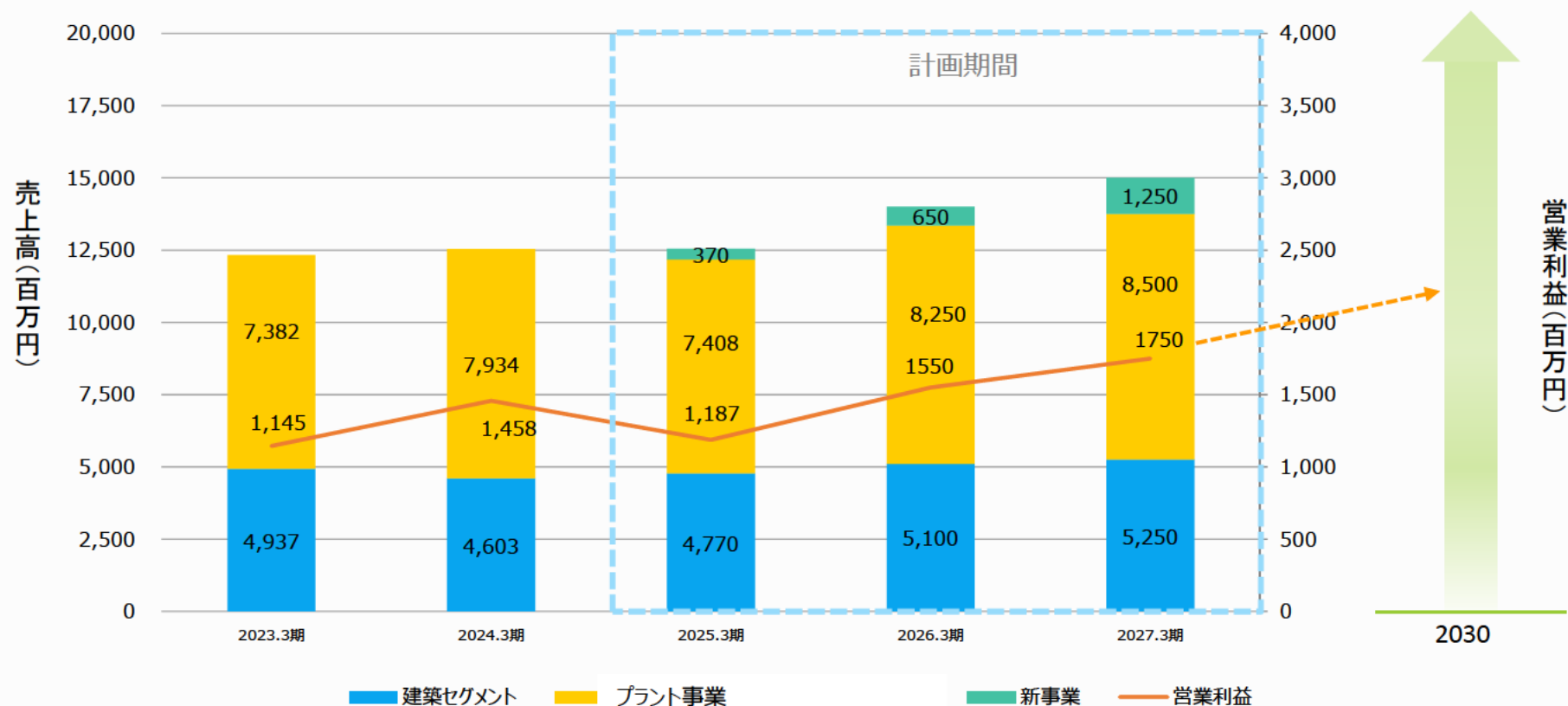


注) 2024.3期の配当は記念配当3円を含む。



- ・既存事業セグメントは横ばい基調も、カーボンニュートラル（CN）化による需要が増加
- ・新規事業セグメントを拡大





(連結) 単位：百万円	2023年度 実績	2024年度 計画	2025年度 計画	2026年度 計画
売上高	12,537	12,547	14,000	15,000
営業利益	1,458	1,186	1,550	1,750
営業利益率	11.6%	9.5%	11%	12%
ROE	7.6%	5.8%	7%	8%

(注) チャレンジ投資枠として、2025年度以降に年1億円程度の費用支出を見込んでいる。  
計画期間は2024年度を始期とする3か年である。必要に応じて、期間の途中であっても見直しを行う



- 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- また、実際の業績等は、経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。
- 掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。
- 本資料は事前の通知なく変更されることがあります。

「IRに関する問い合わせ先」  
日本インシュレーション株式会社  
TEL:06-6210-1250  
<https://www.jic-bestork.co.jp/ir/>